



2022年5月11日

各 位

会社名 株式会社ぐるなび  
 代表者名 代表取締役社長 杉原 章郎  
 (コード番号：2440 東証プライム)  
 問合せ先 経営企画部長 阿部 公一  
 (TEL：03-3500-9700)

## 2022年3月期通期連結業績と前期実績値との差異 及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の連結業績につきまして、前期実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また2022年3月期において特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

### 1. 2022年3月期通期連結業績と前期実績値との差異について

#### (1) 2022年3月期通期連結業績と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A) (2021年3月期)	百万円 16,181	百万円 △7,423	百万円 △7,269	百万円 △9,704	円 銭 △206.90
当期実績 (B) (2022年3月期)	12,852	△4,786	△4,692	△5,768	△114.46
増減額 (B-A)	△3,328	2,637	2,577	3,935	
増減率 (%)	△20.6	—	—	—	

#### (2) 差異の理由

売上高については、当社サービスの対象である外食産業において新型コロナウイルス感染症の影響により営業時間の短縮や酒類の提供制限等が続いたことから、特に上期において飲食店からの受注や消費者によるネット予約利用が低水準で推移したことを主因に前期を下回りました。

他方費用面において、前期末に実施した固定資産の減損処理による減価償却費の減少、売上減少に伴う変動費の低下、一部オフィスの返却・移転による賃借料の減少、外部環境を踏まえた広告費の抑制等により前期を大幅に下回ったことから、各損失は前期より縮小いたしました。

## 2. 特別損失（減損損失）の計上について

### （1） 特別損失（減損損失）の内容

新型コロナウイルスによる当社業績への影響を踏まえ「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて当社の有形・無形等の固定資産について回収可能性を検討し、将来の収益見込み等を勘案した結果、帳簿価格を全額減額し、減損処理による減損損失1,140百万円を計上いたしました。

### （2） 今後の見通し

本件は、本日「2022年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました2023年3月期の連結業績予想に反映しております。

以 上

（参考）2023年3月期連結業績予想（2022年5月11日公表）及び2022年3月期連結実績

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2023年3月期 連結業績予想	12,800	△3,250	△3,250	△3,300
2022年3月期 実績	12,852	△4,786	△4,692	△5,768